九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[005] 九州大学農学部農場年報 : 第5号

https://doi.org/10.15017/13215

出版情報：九州大学農学部農場年報. 5, 2008-03. 九州大学農学部附属農場
バージョン：
権利関係：

V. 地域社会への貢献

1. 公開講座

当農場では，本場（原町農場および篠栗果樹園）および高原農業実験実習場において 1983 年以来 2003 年までに 16 回の公開講座を開催しており，2004，2005，2006 年には「体験！農業と食料・環境問題」を開講した．概要は以下の通りである．

2004 年
1)テーマ：体験！農業と食料・環境問題
　　－農業体験を教育に活かしませんか－
2)講師：農場教員および技術職員
3)受講者：小中高校教諭および一般（計 23 名）
4)日程：2000 年 7 月 28 日～30 日（2 泊 3 日の合宿形式）

共催：福岡県教育センター

実施日程

月日	時間	1 班	2 班
7 月 28 日（水）	9:00～11:10	受付，開講式，実習内容説明，宿泊案内，農場案内	
	11:15～12:00	オープニングレクチャー「農業と環境問題」	
	13:00～16:00	おいしい肉を食べるには？（畜産研究室，高原農場）	ビッグトラクタ試乗（作物・機械研究室）
7 月 29 日（木）	9:00～12:00	乳の加工と利用（畜産研究室）	果樹の繁殖法（果樹研究室）
	13:00～16:00	ビッグトラクタ試乗（作物・機械研究室）	おいしい肉を食べるには？（畜産研究室，高原農場）
7 月 30 日（金）	9:00～12:00	果樹の繁殖法（果樹研究室）	乳の加工と利用（畜産研究室）
	13:00～16:00	総括・討論会，閉講式	

2005 年
1)テーマ：体験！農業と食料・環境問題
　　－農業体験を教育に活かしませんか－
2)講師：農場教員および技術職員
3)受講者：小中高校教諭および一般（計 25 名）
4)日程：2005 年 7 月 27 日（水）～29 日（金）

共催：福岡県教育センター

実施日程

月日	時間	1 班	2 班
7 月 27 日（水）	9:00～11:10	受付，開講式，実習内容説明，宿泊案内，農場案内	
	10:30～11:20	オープニングレクチャー「農業と環境問題」	

	13:00～ 16:00	おいしい肉を食べるには？ （畜産研究室，高原農場）	ビッグトラクタ試乗 （作物・機械研究室）
7月28日 （木）	9:00～ 12:00	大豆の収穫と豆腐作り （作物・機械研究室）	遺伝子を見てみよう！ （蔬菜・花卉研究室，果樹研究室）
	13:00～ 16:00	ビッグトラクタ試乗 （作物・機械研究室）	おいしい肉を食べるには？ （畜産研究室，高原農場）
7月29日 （金）	9:00～ 12:00	遺伝子を見てみよう！ （蔬菜・花卉研究室，果樹研究室）	大豆の収穫と豆腐作り （作物・機械研究室）
	13:00～ 16:00	総括・討論会，閉講式	

2006年

1)テーマ：体験！農業と食料・環境問題
　　－農業体験を教育に活かしませんか－
2)講師：農場教員および技術職員
3)受講者：小中高校教諭（24名）
4)日程：2006年7月26日～28日（2泊3日の合宿形式）

共催：福岡県教育センター
協賛：コスモ・バイオ株式会社公開講座応援団

実施日程

月日	時間	1班	2班
7月26日 （水）	9:00～ 11:10	受付，開講式，実習内容説明，宿泊案内，農場案内	
	11:15～ 12:00	オープニングレクチャー 植物と二酸化炭素　－生産と環境保全の視点から－	
	13:00～ 16:00	おいしい肉を食べるには？ （畜産研究室，高原農場）	メロンの収穫 （蔬菜・花卉研究室）
7月27日 （木）	9:00～ 12:00	大豆の収穫と豆腐作り （作物・機械研究室）	遺伝子を見てみよう！ （果樹研究室）
	13:00～ 16:00	メロンの収穫 （蔬菜・花卉研究室）	大豆の収穫と豆腐作り （作物・機械研究室）
7月28日 （金）	9:00～ 12:00	遺伝子を見てみよう！ （果樹研究室）	おいしい肉を食べるには？ （畜産研究室，高原農場）
	13:00～ 16:00	総括・討論会，閉講式	

2.サマーキャンプ

1)一般家族を対象に高原農業実験実習場に宿泊して、久住高原の豊かな自然の中で、牛の世話や草地内の散策を楽しみながら、自然環境と農業に対する社会的な理解を広げることを目的として行っている。また、地域との交流も行っている。企画、運営は例年、農学部および他大学の院生、学生のボランテイアを中心に行う。

2004年：第9回「九州大学久住高原牧場サマーキャンプ」を8月5日（木）～ 8月8日（日）の3泊4日の日程で開催した。

2005年：第10回「九州大学久住高原牧場サマーキャンプ」を8月4日（木）～ 8月7日（日）の3泊4日の日程で開催した。

2006年：第11回「九州大学久住高原牧場サマーキャンプ」を8月3日(木)～ 8月6日(日)の3泊4日の日程で開催した。

2)母と子のキャンプ

(財)青少年野外教育財団との共催で2004年11月6日(土)～11月7日(日)の1泊2日の日程で開催した。

3)遊びの達人

(財)青少年野外教育財団との共催で2005年7月9日(土)、2006年11月25日（土）に開催した。

3.その他

1) 学会以外での講演，発表

2004年度

後藤貴文．耕作放棄地放牧実証事業に関わる報告会．旧香ヶ地町役場（現豊後高田市）

2005年度

中司　敬．農業生産技術とアート．粕屋地域フォーラム．

後藤貴文．フードチェーンと畜産学教育,畜産学教育協議会シンポジウム「食料生産科学を分担する畜産学とその教育」　仙台市

後藤貴文．オープニングレクチャー．高原農業実験実習場シンポジウム　福岡市

文田登美子．牛における代謝生理テクインプリンティング機構．高原農業実験実習場シンポジウム　福岡市

林　恵介．耕作放棄地の放牧活用と植生の変化．高原農業実験実習場シンポジウム　福岡市

2006年度

中司　敬．八女フィールド創造教育センター冬の夜学校講演「村のカフカ論，もしくは農のグローバリズム」　八女市

中司　敬．粕屋地域フォーラム講演「大学農場と食育」　古賀市

中司　敬．JAふくおか八女講演会「「本物」に根ざす地域振興」　八女市

Okubo, K., Y. Ozaki, *et al*. Introduction and breeding of a functional vegetable for medicinal use. International Symposium for Pharmaceutical Science in Beijing, Beijing

後藤貴文．肉用牛の体質制御による高品質牛肉生産技術の開発．日本畜産学会第106回大会企画シンポジウム「ルミナントバイオロジーの新展開」 福岡市

後藤貴文．肉用牛の体質制御による高品質牛肉生産技術の開発．日本畜産学会第106回大会企画シンポジウム「ルミナントバイオロジーの新展開」 福岡市

後藤貴文・林恵介・文田登美子・衛藤哲次・塩塚雄二．代謝生理的インプリンティング効果と国内未利用草資源の活用による牛肉生産システムの開発．第31回ルーメン研究会．福岡市

後藤貴文．耕作放棄地放牧の実際と進化の可能性～耕作放棄地放牧はおもしろい～．福岡県主催、「草つくり、堆肥つくり、土つくりシンポジウム」 筑紫野市

後藤貴文．耕作放棄地と新規就農について、～放牧はおもしろい～．平成18年度大分県自給飼料増産セミナー九州地域放牧現地研修会．宇佐市

後藤貴文．体質制御と国内草資源のフル活用による安全で良質な次世代型牛肉生産システムの構築．現代GPシンポジウム（Food, Feed and Feces）Ⅲ 飼料の安全・安心 Ⅰ：持続可能な畜産業をめざして．東京大学

後藤貴文．耕作放棄地放牧と新規新規就農について．第6回放牧サミット

後藤貴文．体質制御による地域草資源活用型の安全で良質な牛肉生産システムの開発．九州沖縄農業試験研究推進会議畜産・草地推進部会　肉用牛研究会

後藤貴文．安全でおいしい牛肉の生産に挑戦．西日本日独協会講演会　福岡市．

2) 研究会

九州地区動物生理談話会を高原農業実験実習場にて2006年8月26日～27日に開催した。

約40名の研究者と学生が参加した。

3）マスコミ等による報道

2004年度

OABテレビ，特集「省力型畜産で一挙両得」　プライムニュース．2004.6.14

FBSテレビ，「超省力農業の秘密」　めんたいワイド．2004.7.27

2005年度

NHK総合テレビ，大学等解放事業（Jr.サイエンス事業）トラクターで科学離れを防げ．2005.8.30

西日本新聞，トラクター分解と組み立て　中学生14人が挑戦．2005.9.1

西日本新聞，「犂起こし」発祥の地で作業体験　粕屋町の九大農場　住民ら75人参加．2006.1.16

農機新聞，犂耕の奥義を語る．2006.1.24

KBCテレビ，パワーアップ九州　植物工場．2006.3.18

日本農業新聞，農に芸術の光を　新視点で活性化提言．2006.3.25

読売新聞，旧ミカン園に牛放牧 -荒れた農地の回復期待、豊後高田の農家試みる．2005.11

朝日新聞，牛も農地もすくすくと -荒廃みかん園に放牧、「守る会」など実用化へ．2005.11

日本農業新聞，肉牛、早期に濃厚飼料　以後、粗飼料で増体に -九大が実証．2006.1

日本農業新聞，ミカン園に和牛放牧 -耕作放棄地の発生防げ、九大やJAが協力．　2005.11

2006年度

農機新聞，九大農場で農業技術の研修．2006.10

農機新聞，ミカン選果場で植物の紡ぐ音楽を聴く．2007.3

KBCテレビ，農業と水．アサデス/水と緑の物語．2006.7

朝日新聞，人の肥満にモオー学習「福岡県と九大　良質牛研究」．2006.4.11

朝日新聞，パソコンで放牧牛管理、遠隔操作で餌も自動．2006.8.29

読売新聞，自宅で餌やり牧場観察、牛管理システム実証実験．2006.9.24

日本農業新聞，放牧牛　自宅で映像で管理、九大と企業開発．2006.10.15

河北新報，放牧牛で霜降りを．2007.3.14

4)初等中等教育への貢献

2004年度

古澤弘敏．粕屋西小学校　植物栽培の指導．2004.4.1-2006.3.31

2005年度

中司　敬．大学等解放事業（Jr.サイエンス事業）「本物のトラクタを分解して組み立てよう！試運転をめざせ」を中学生対象で開催．2005.8.23-26

中野　豊・古澤弘敏・泉　清隆・梶原康平・道端奈穂子．春日東中学校　体験学習　2005.6.30

2006年度

中司　敬．（独）教員研修センター「農業技術を通した都市と農村の地域間交流と食育」全国各県教育指導者・企画立案者向け体験プログラムの講演と指導．2006.10.25

中野　豊・古澤弘敏・泉　清隆・梶原康平・道端奈穂子．春日東中学校　体験学習 2006.6.15- 16

岡野　香・中野　豊・古澤弘敏・泉　清隆・梶原康平・道端奈穂子．志免中学校　体験学習　2006.10.7

望月俊宏・鳥飼芳秀・梶原良徳・山崎敦子．粕屋東中学校　総合学習・職場体験．2006.10

望月俊宏．筑紫丘小学校　ゲストティーチャー・お米の話し．2006.11

後藤貴文．「遊びの達人」（財）青少年野外教育財団共催．2006.11.25

酒井かおり．東明館高等学校　キャリアガイダンス　出張講義．2006.6.17